

第2期石岡市子ども・子育て支援プラン（案）に関する

パブリックコメント結果

募集期間 令和元10月15日（火曜日）～令和元年10月29日（火曜日）
意見 2件（2通）

意見1

現在、長男が八郷幼稚園に通園しています。

意見としては一点だけです。

市内保育園・幼稚園の数は維持してほしいと考えます。

周知と思いますが、施設数の減少は「子育て世代の流入」には絶対につながらないと思います。理想を言えば、数があればいいという発想だけではなく、「活気」のある幼稚園保育施設の充実を望みます。

予算の兼ね合いがあるのは、重々承知の上ですが受け皿拡大を期待しています。

市の考え方

ご意見の趣旨は、とても大切であると考えます。

今後も引き続き、待機児童を出さないための取り組みと、「活気」ある教育・保育施設が運営できるよう、民間保育園や認定子ども園の協力をいただきながら教育・保育に関わる事業の充実を図って参ります。

意見2

石岡市八郷地区においては、子どもを預けられる施設が少ないといった意見や令和2年度に幼稚園の閉園が見込まれているといった事情がある。にもかかわらず、それらの事情につき具体的な解決策を何ら示すことなく、抽象的に基本政策を立てても全く説得力を持たない。八郷地区の住民が現実に困っている点を見逃して、理想論を唱える石岡市のプランは、住民のためのサービスを無視した、市の予算取りのための自己満足の施策にしか思えない。

合併後、八郷庁舎があるのに、税金を無駄に使って石岡市役所を建設したり、八郷運動公園の利用料を上げるなど、八郷地区の市民にとって納得できるような政策がなされていないとは到底いえない。今回の施策も、石岡市全体に見れば保育施設の供給は十分足りているので、八郷地区の市民への対策は、石岡地区の施設の利用を促すことにより解決を図るとの意図がうかがえる。このような八郷地区の市民の利益を無視した、子育て支援政策がなされるならば、八郷地区の市民の理解は得られないであろう。

石岡市は、面積が広く、地区により子育て環境が大きく異なる。この点を踏まえ、石岡市の子育ての支援施設が石岡地区のみに偏ることなく、全地域に平等に設置され、全地域の方が平等に支援プランを受けられるよう配慮することが必要だと考えます。

市の考え方

ご意見でご指摘されている内容については、市の計画策定の目的からも重要なことであると考えます。

計画でお示しした、教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込みやニーズ調査の結果を踏まえた計画を立て、実情と照らし合わせて推進することが大切であると認識しています。